



1 勝田中等教育と連携調印



県立IT短大 榮智徳教務課長 酒井雄一 一学校長(左から)
県立勝田中等教育学校 下山田芳子校長 上金紀子教頭(左から)

6月14日(金)、本校は、デジタル人材の育成を目指す文部科学省の高校DX加速化推進事業(DXハイスクール)に採択された県立勝田中等教育学校と高大連携協定を結びました。次代を担うIT技術者の育成を推進する本校は、高大連携を通じて、高校段階からデジタル人材の育成に力を入れます。今後、本校職員が高校で出前講座をしたりするなど、生徒が高度で実践的なデジタル知識、技能を身に付けられる教育環境を整えます。本校の酒井雄一学校長は「入学生の多い近隣高校をデジタル人材育成の面で協力していきたい」、下山田芳子校長は「ITに特化した大学校に協力いただけるのは嬉しい」と話されました。最初の出前授業は7月上旬からスタートします。県内では計17校がDXハイスクールに採択されています。



授業を見学する酒井雄一学校長



連携に関する打ち合わせ風景

2 みんなの母校訪問⑥

県立高萩清松高等学校

2006年に、総合学科として開校し、様々な可能性を秘めた生徒一人一人に対し、1年生で自分の進路を見つめさせ2年生からは希望する6つの系(人文科学、自然科学、機械テクノロジー、情報ビジネス、福祉・生活科学)で実践力を磨き上げる高校です。塚田 歩校長から「次代を担うIT技術者として、がんばれ!」とエールを頂きました。



稲見美千代教頭 塚田 歩 校長

3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事> 日本経済新聞(2024年6月1日)
食事環境 こだわるとよい理由
元気の処方箋

●**田山侑聖さん(勝田高卒)**
◇**要約:** 疲れたときやイライラしている時に美味しいものを食べると、不快な感情が和らぐなど、関係のない二つの物が関連づけられていると錯覚することを『連合の原理』という。これを活用したもので「ランチョントクニック」というものも、サミットなどでも使われている。
◇**感想:** 日常の中で自然と感じていることが、心理学の世界では立派な原理の一つとして考えられていることに驚いた。また、サミットなどでも食事が人に与える影響が大きいことが分かりました。

●**堺 高洋さん(中央高卒)**
◇**感想:** 美味しいものを食べたら感情が和らぐという経験は自分にもあったと思った。キャンプでのご飯がよりおいしく感じるのも『連合の原理』が関係していると思った。やはり食事は重要だなと思った。

●**永井海羽さん(日立商高卒)**
◇**感想:** 『連合の原理』というものを初めて聞いた。食事をしながら交渉することで良い効果を得られることも初めて聞いた。『連合の原理』を知ったので、食事やその他のことでもよい効果が得られる事象を調べたいと思った。



●**平田柚子さん(石岡商高卒)**
◇**感想:** 美味しいものを食べると脳の働きに好影響を与え、これはメンタルヘルスの向上にも活用できるという話でした。栄養のことを考えて食べれば、自律神経が整い更にメンタルが回復するという結果もあると私は思います。



●**堀江詩音さん(日立北高卒)**
◇**感想:** 食事は空腹を満たすだけでなく、心や脳の疲労にも効果があることを知ることができた。最近テストが沢山あって疲労がたまっているため、ご飯を食べ心と脳を元気にして乗り切っていけるように頑張ろうと考えた。

